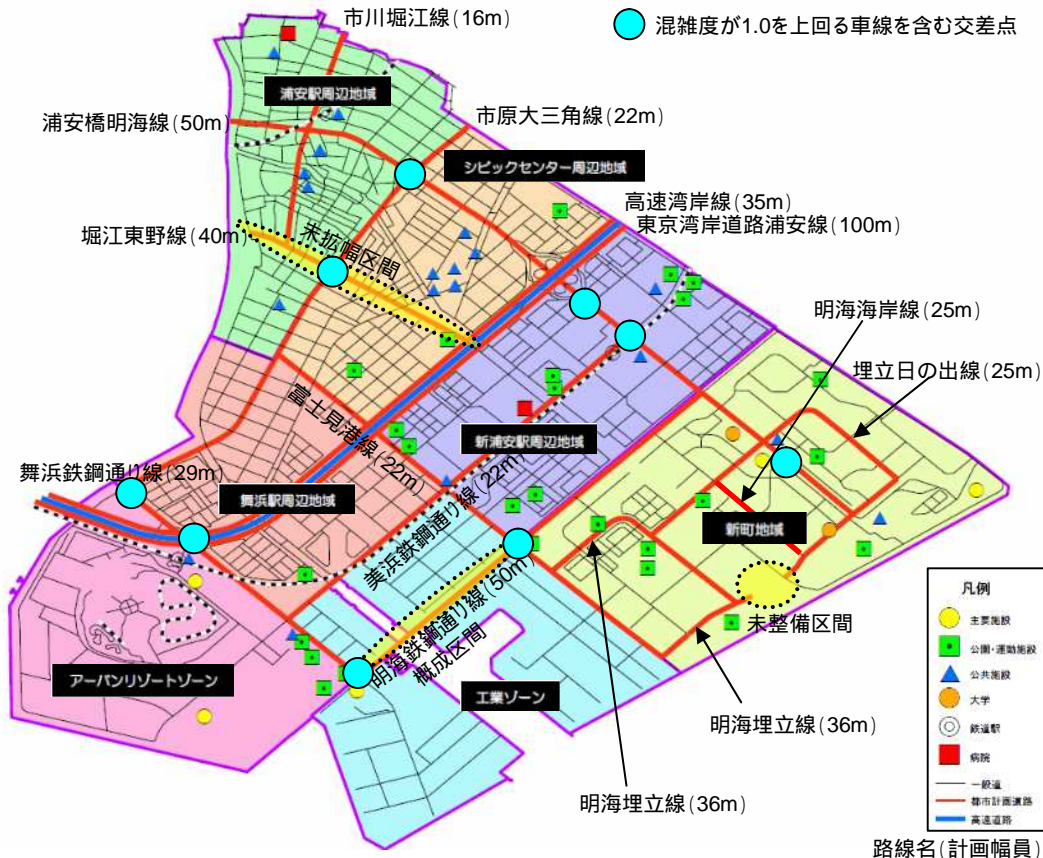


# 浦安市

## 1. 浦安市の現況 (平成18年度)



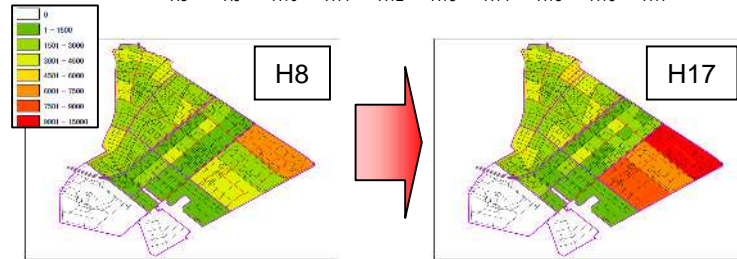
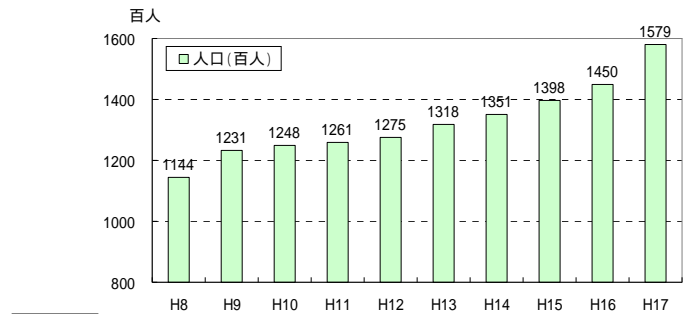
### 浦安市の特徴

夜間人口は、新町地域を中心に増加が見られる。一方、従業人口はサービス業・小売業・製造業を中心に増加している。交通状況として、舞浜鉄鋼通り線や浦安橋明海線上の交差点で混雑度が1.0を上回っていることがわかる。

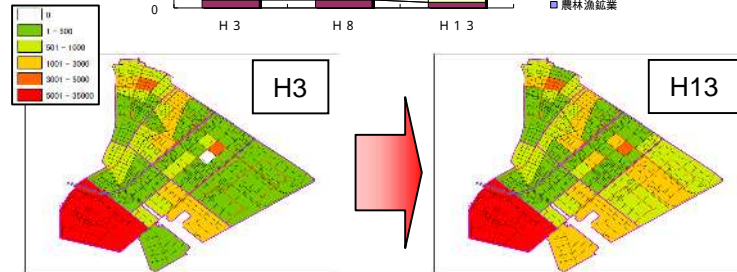
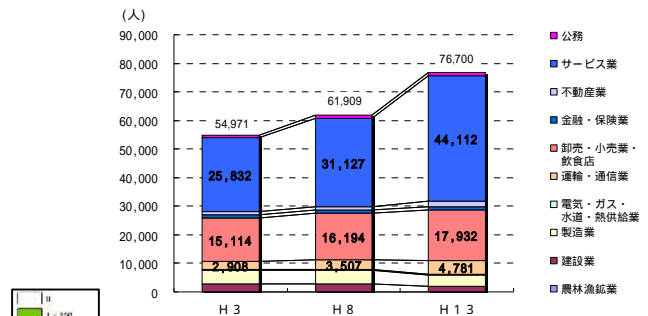
### 浦安市の課題

夜間人口はや従業人口の動向を見ると、新町地域や工業ゾーンを中心に今後も交通量が増加することが予想される。その際、縦方向の移動軸として、舞浜鉄鋼通り線や浦安橋明海線を中心に交通混雑が予想される。現状および将来の開発動向等を踏まえ、新町地域・工業ゾーン・舞浜駅周辺地域を中心に交通状況を観測していく必要があると言える。

## 2. 夜間人口の変化



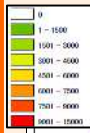
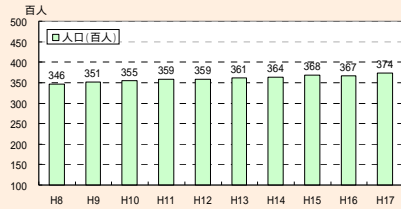
## 3. 従業人口の変化



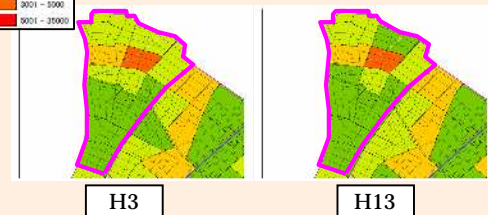
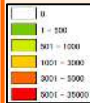
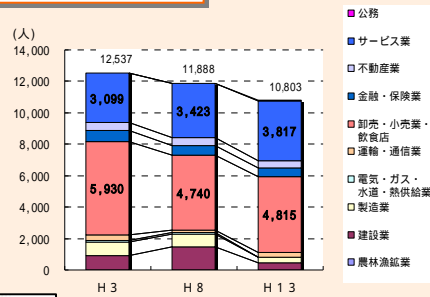
# 浦安駅周辺地域

## 1. 人口の変化

### 夜間人口の推移

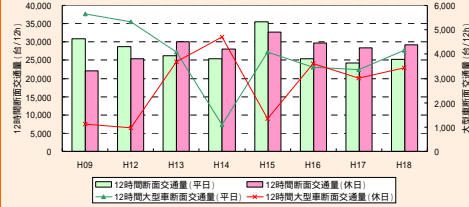


### 従業人口の推移

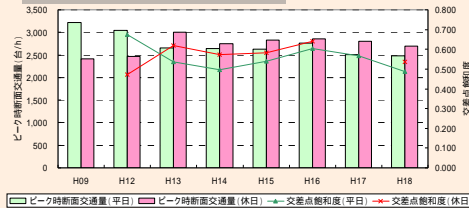


## 2. 交通の変化(浦安東詰交差点)

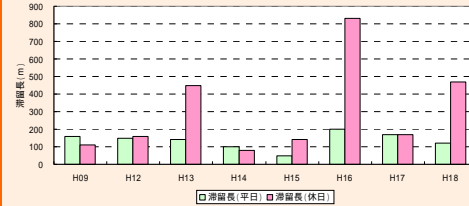
### 交通量の推移



### ピーク交通量の推移



### 滞留長の推移



## 3. 施設立地動向

	公共施設	団地	その他
H8	当代島公民館の開館		
H9			
H10			
H11		当代島市営住宅	
H12			
H13			
H14			
H15			
H16			
H17			
H18			

## 4. まとめ

### 地区全体の特徴

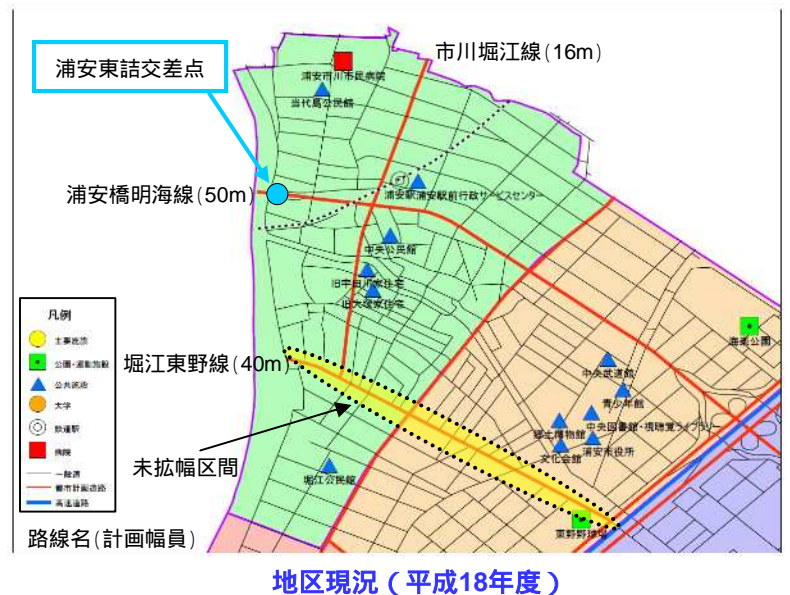
<人口の変化>  
平成8年から平成17年にかけて、夜間人口が約2,800人ほど増加している。一方、従業人口はサービス業・小売業で増加しているが、全体的には約2,700人減少している。

<交通の変化>  
浦安東詰交差点の交通量は大きな増減は見られない。渋滞長は平日より休日のほうが長くなっている。

<施設立地動向>  
目立った施設の立地は見られない。

### 地区の課題

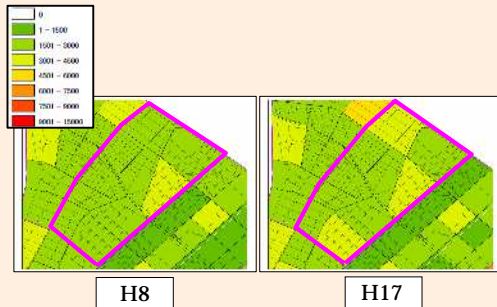
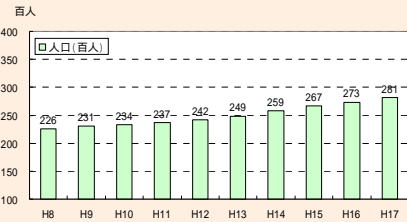
浦安駅周辺は、既存市街地であり、人口・交通・施設立地に大きな変化は見られない。ただし、休日における滞留長の増加が見られる。特筆すべき課題は無く、当面は交通状況の観察を継続することで充足すると考えられる。



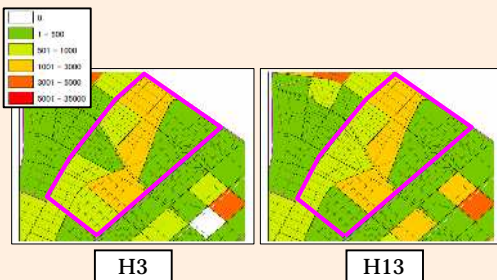
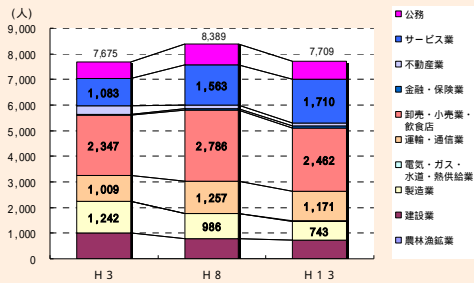
# シビックセンター周辺地域

## 1. 人口の変化

### 夜間人口の推移

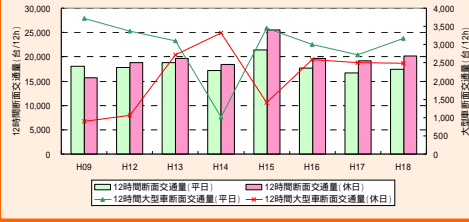


### 従業人口の推移

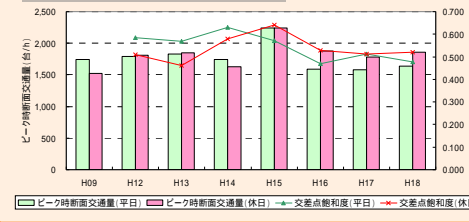


## 2. 交通の変化(猫実3丁目交差点)

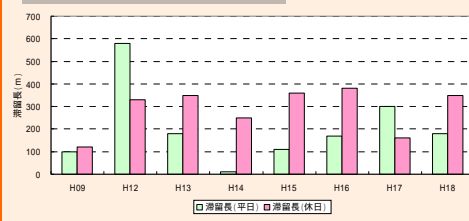
### 交通量の推移



### ピーク交通量の推移



### 滞留長の推移



## 3. 施設立地動向

年	公共施設	団地	その他
H8			
H9		猫実2市営住宅	
H10			
H11	健康センターの開設		
H12	郷土博物館		
H13	青少年館		
H14		堀江東市営住宅	
H15			
H16		東野市営住宅	
H17			
H18			

## 4. まとめ

### 地区全体の特徴

#### <人口の変化>

平成8年から平成17年にかけて夜間人口は約5,500人増加している。従業人口は、平成3年から平成13年にかけてサービス業・運輸業で増加が見られ、製造業で減少が見られる。

#### <交通量の変化>

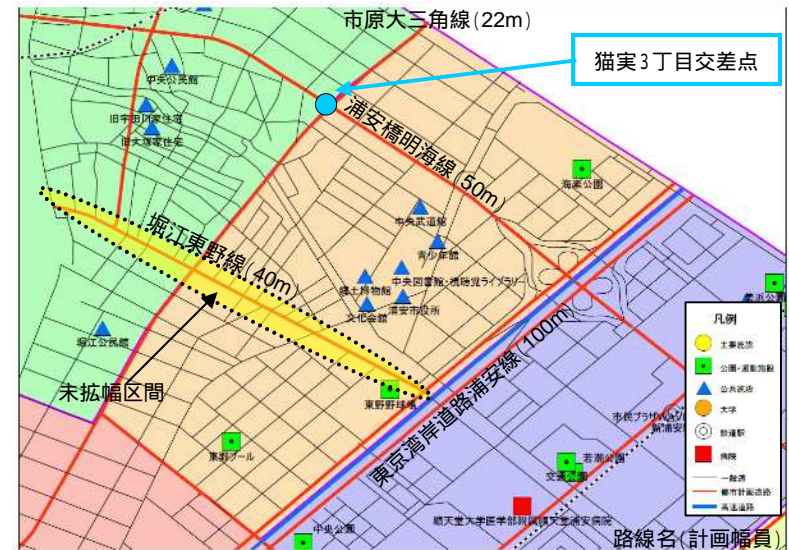
猫実3丁目交差点の交通量に大きな変化は見られない。滞留長は休日が平日よりも長く、概ね300mから400mを推移している。

#### <施設立地動向>

平成10年から平成18年にかけて団地や公共施設が立地している。

### 地区の課題

市役所や文化会館などの公共施設が多数立地しており、近年も団地等が立地している。しかし人口や交通量の大きな増減は見られず、滞留長にも大きな変化は見られない。特筆すべき課題は無く、当面は交通状況の観察を継続することで充足すると考えられる。

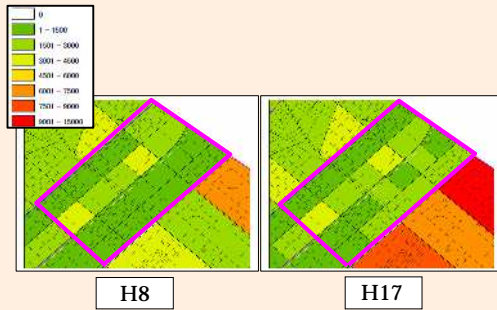
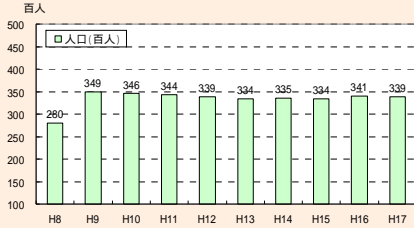


地区現況(平成18年度)

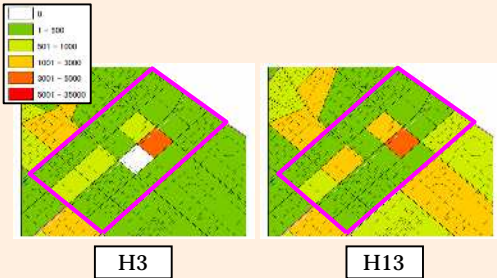
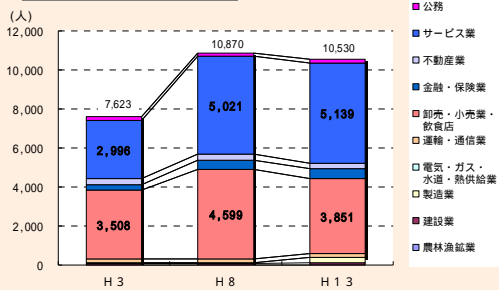
# 新浦安駅周辺地域

## 1. 人口の変化

### 夜間人口の推移

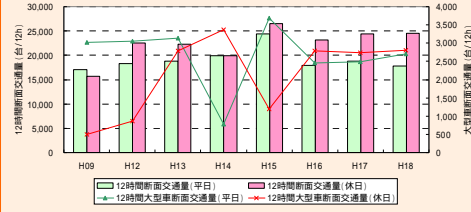


### 従業人口の推移

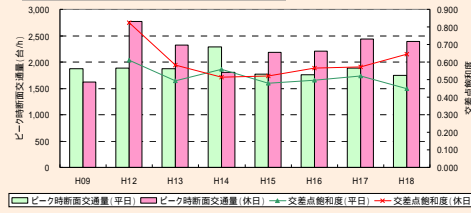


## 2. 交通の変化(入船交差点)

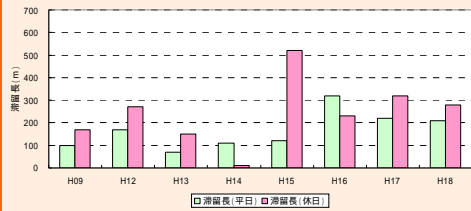
### 交通量の推移



### ピーク交通量の推移



### 滞留長の推移



## 3. 施設立地動向

	公共施設	団地	その他
H8			
H9			
H10			
H11			
H12			
H13			
H14			
H15			
H16		エアレジデンス新浦安	
H17			
H18			

## 4. まとめ

### 地区全体の特徴

- <人口の変化>  
平成9年以降、夜間人口は微増減している。一方、従業人口は特にサービス業、小売業で増加している。
- <交通の変化>  
入船交差点の休日の交通量に増加が見られる。また、滞留長は調査年度によって傾向がことなるが主に休日の滞留長が長い。
- <施設立地動向>  
目立った施設の立地は見られない。

### 地区の課題

JR京葉線沿いに施設の立地しており、入船交差点では平成12年以降滞留長の増加が見られる。当該地区は開発動向が著しい新町地域と浦安駅方面を結ぶ地域であり、今後も交通状況の変化が予想される。よって、今後も経年的に交通状況を観測する必要がある。

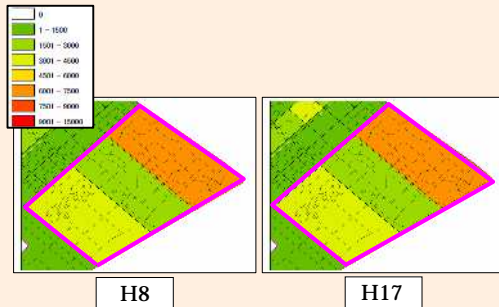
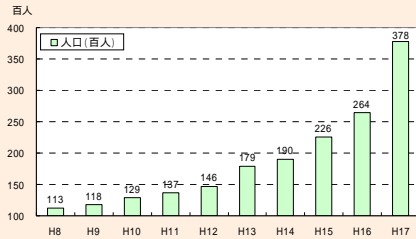


地区現況(平成18年度)

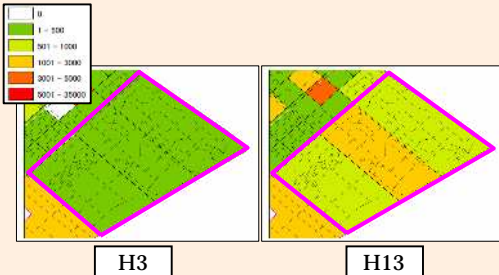
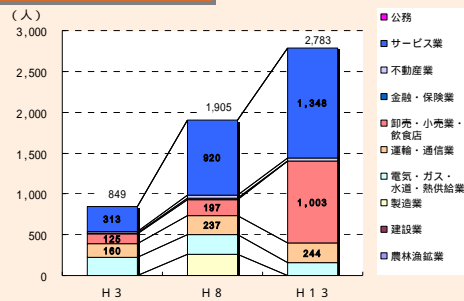
# 新町地域

## 1. 人口の変化

### 夜間人口の推移

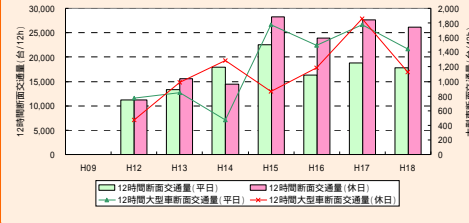


### 従業人口の推移

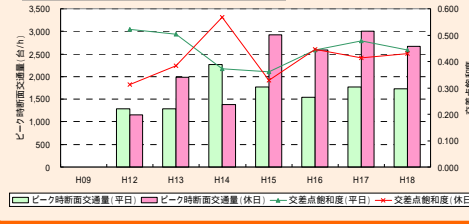


## 2. 交通の変化 (明海交差点)

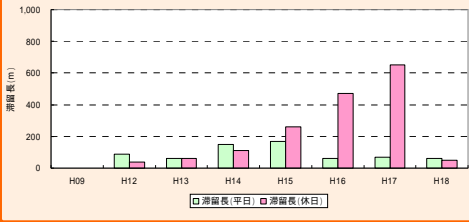
### 交通量の推移



### ピーク交通量の推移



### 滞留長の推移



## 3. 施設立地動向

年度	公共施設	団地	その他
H8			
H9			高洲中央公園の一部供用開始
H10			日の出公民館 日の出北公園
H11	特別養護老人ホームの開設		
H12	ラヂアンコート新浦安	高洲海浜公園	
H13	コスモ新浦安東区ベイ		
H14	グランファースト新浦安 パークシティ新浦安 ベシタ新浦安		イトーヨーカドー新浦安店
H15	アールフォーラム新浦安 セレナヴィータ新浦安 シジナスタワー新浦安		
H16	パークシティ東区ベイ新浦安SEA街区 パークシティ東区ベイ新浦安SOL街区		
H17	シーガーデン新浦安 パークシティ東区ベイ新浦安Coco街区 ラフィネス新浦安		明海の丘公園
H18	パークシティ・モアナヴィタ新浦安		総合公園 日の出おひさま公園 湯のり万葉園 了徳寺大学

## 4. まとめ

### 地区全体の特徴

<人口の変化>  
平成12年以降の団地整備に伴い、夜間人口が増加している。また、従業人口もサービス業、小売業を中心に人口が増加している。

<交通の変化>  
人口の増加に伴い、交通量の増加が見られる。滞留長は平成17年まで増加しているが、平成18年には大幅に減少している。

<施設立地動向>  
平成12年以降、団地の立地が相次ぎ、イトーヨーカ堂や明海大学などの商業施設や教育施設も立地している。

### 地区の課題

大規模団地や、大型店舗(イトーヨーカ堂)などの開発動向が著しい地域である。これに伴い人口および交通量が大きく増加しており、都市計画道路の整備や交差点改良、継続的な交通調査による検証(いわゆるPDCA)が必要であると言える。



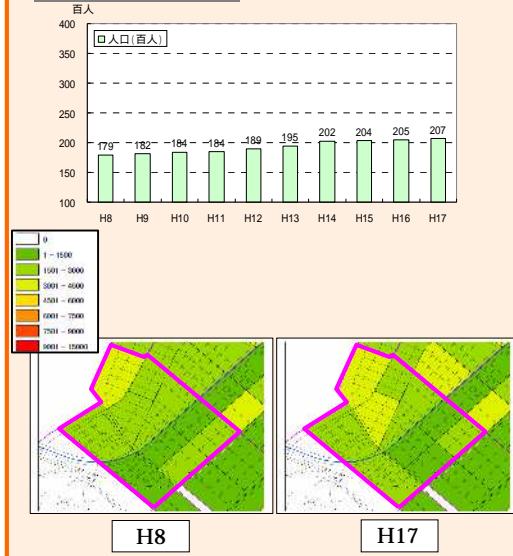
地区現況 (平成18年度)

路線名(計画幅員)

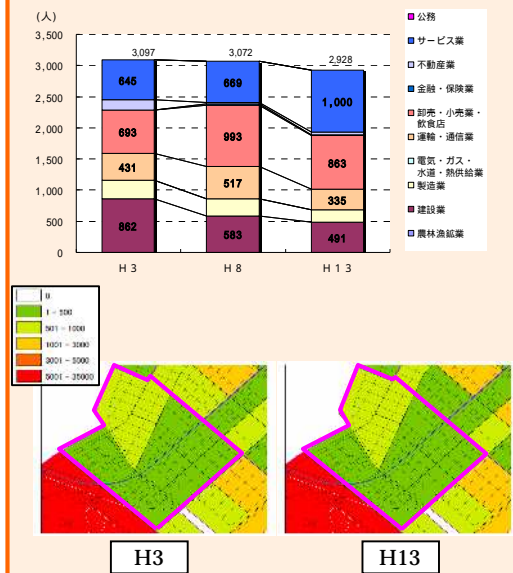
# 舞浜駅周辺地域

## 1. 人口の変化

### 夜間人口の推移

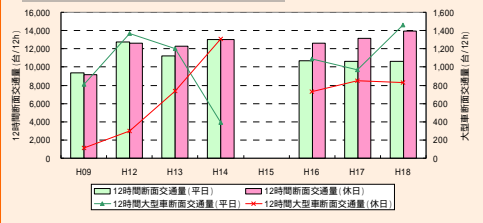


### 従業人口の推移

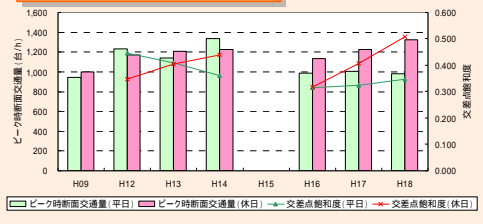


## 2. 交通の変化(富士見交番前交差点)

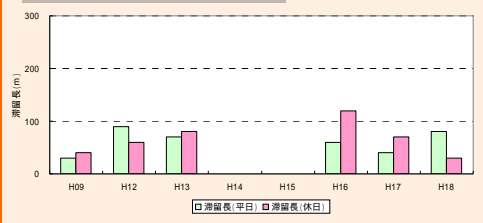
### 交通量の推移



### ピーク交通量の推移



### 滞留長の推移



## 3. 施設立地動向

	公共施設	団地	その他
H8	総合体育館の開館		
H9			
H10			運動公園
H11			屋内水泳プール
H12			
H13			ライオンズガーデン新浦安
H14			
H15			
H16			
H17			
H18			

## 4. まとめ

### 地区全体の特徴

<人口の変化>  
平成8年から平成17年の間に夜間人口は約2,800人増加している。また、従業人口は、平成3年から平成13年の間で大きな増減は見られない。

<交通の変化>  
富士見交番前交差点の交通量は休日で約6,000台増加している。また、滞留長は調査年次で傾向が異なっている。

<施設立地動向>  
総合体育館や、運動公園、屋内水泳プール等が立地している。

### 地区の課題

夜間人口・従業人口に大きな変化は見られないが、富士見交番前交差点の交通量は休日において約6,000台増加している。また、工業ゾーン(鉄鋼団地)に関連する通過交通等の問題もあり、今後も経年的に交通状況をチェックしていく必要がある。

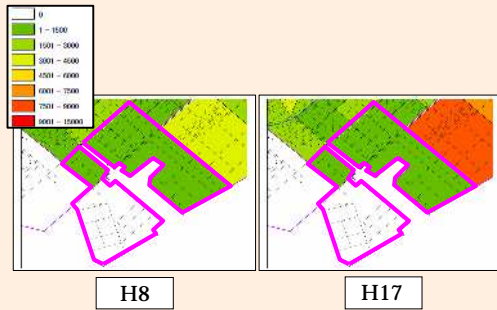
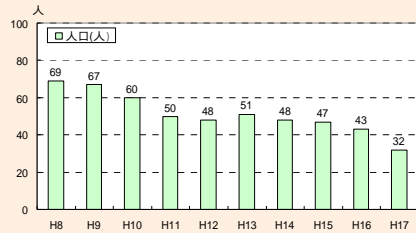


地区現況(平成18年度)

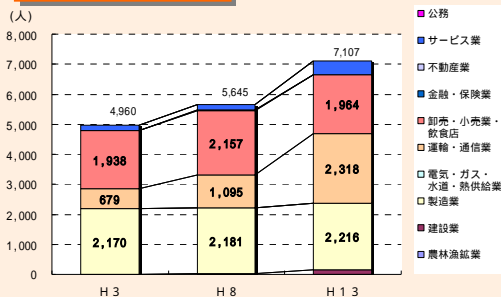
# 工業ゾーン

## 1. 人口の変化

### 夜間人口の推移

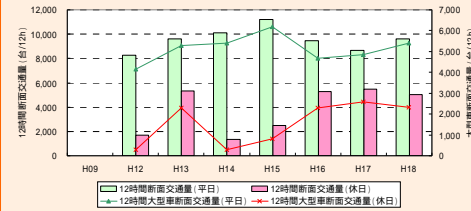


### 従業人口の推移

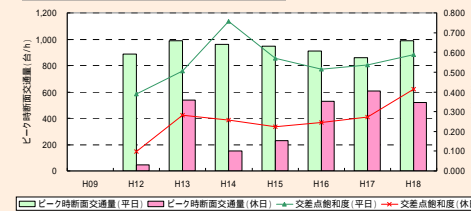


## 2. 交通の変化(高洲太陽の丘公園交差点)

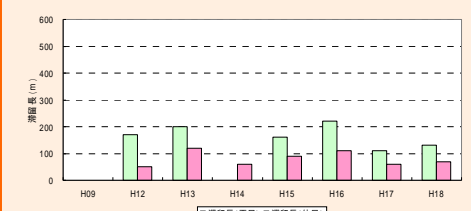
### 交通量の推移



### ピーク交通量の推移



### 滞留長の推移



## 3. 施設立地動向

	公共施設	園地	その他
H8			
H9			し尿処理場の開場
H10			
H11			ヒートアッププラザの開設
H12			
H13			
H14			
H15			
H16			
H17			
H18			

## 4. まとめ

### 地区全体の特徴

#### <人口の変化>

夜間人口はほとんど無く、従業人口は平成3年から平成13年の間に大きく増加している。

#### <交通の変化>

高洲太陽の丘公園交差点の交通量は主に平日が多く、休日との差が大きい。滞留町は概ね200m未満である。

#### <施設立地動向>

目立った施設の立地は見られない。

### 地区の課題

日本最大の機能を誇る鉄鋼流通基地であり、鉄鋼などの資材を運搬する交通が平日に発生していると考えられる。大型車交通量の増加にともなう、交通面・環境面への影響などが考えられ、今後も経年的に交通状況を観察していく必要があると言える。



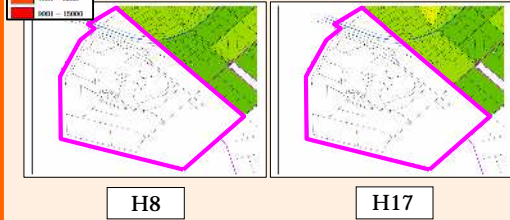
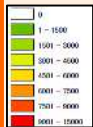
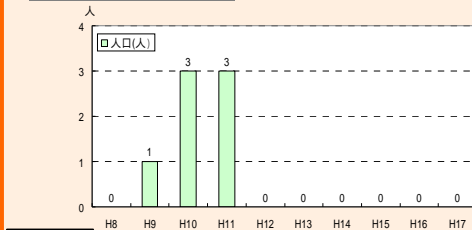
地区現況(平成18年度)

路線名(計画幅員)

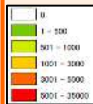
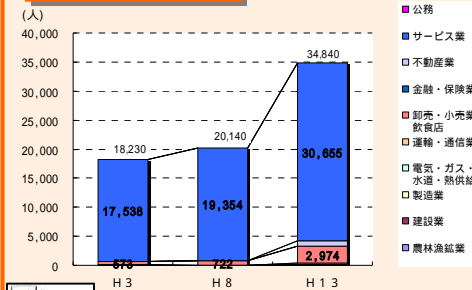
# アーバンリゾートゾーン

## 1. 人口の変化

### 夜間人口の推移

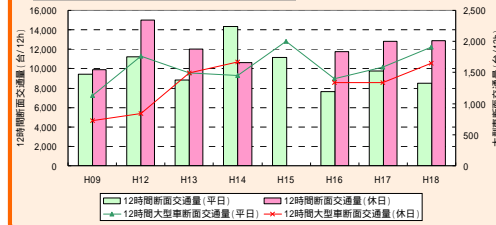


### 従業人口の推移

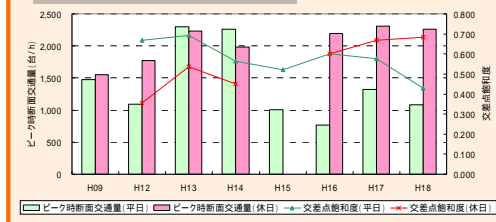


## 2. 交通の変化 (運動公園前交差点)

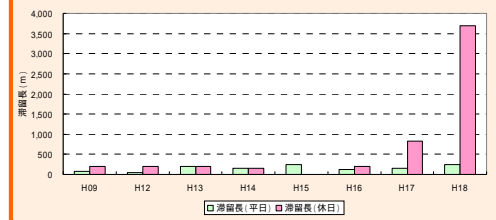
### 交通量の推移



### ピーク交通量の推移



### 滞留長の推移



## 3. 施設立地動向

	公共施設	団地	その他
H8			
H9			
H10			
H11			
H12			
H13			東京ディズニーシーオープン
H14			
H15			
H16			
H17			
H18			

## 4. まとめ

### 地区全体の特徴

#### <人口の変化>

夜間人口は平成12年以降0人であり、ディズニーシーの開業以降、従業者数も約35,000人に増加している。

#### <交通の変化>

運動公園前交差点の交通量は休日が多く、概ね12,000台前後である。ピーク交通量は平成16年以降平日と休日の差が大きくなっている。

#### <施設立地動向>

平成13年にディズニーシーがオープンしている。

### 地区の課題

ディズニーリゾート関係で発生する交通の円滑化が課題である。特に朝と夕方から夜にかけてのピーク時間での交通混雑を緩和する施策のひとつとして、舞浜交差点の立体化が挙げられる。今後とも経年的に交通状況を観察していく必要があると言える。



地区現況 (平成18年度)